

< 利尻ナイト >

カリスマ・ネイチャーガイドと考える 通年型北海道観光の可能性

オフシーズンに客を呼ぶことは、観光立国を目指す北海道にとって大きな課題です。利尻島の観光シーズンは夏ですが、実はオフシーズンであるはずの冬にも、海外からの顧客誘致に成功しています。これは興味深い事実であり、この事例から学ぶことは大きいように思います。

そこで、利尻島で山岳ガイドとして活躍している渡辺敏哉さんと、北海道における山岳スキーシーンをリードする佐々木大輔さんのお二人に、内外の観光客を引きつける冬の利尻の魅力、そして北海道の雪山の価値について、熱く語っていただきます。

「現場」でご活躍のお二人のお話に加えて、北海道運輸局観光部の村上裕之さんには、北海道における観光の現状と課題について、行政の立場でデータにもとづき客観的に示して頂きます。利尻ナイトが北海道観光の可能性についてより深く考えていただくきっかけになれば幸いです。

令和元年9月27日金

19:00~21:00(開場:18:30)

北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟 1F W103教室

講演者

村上 浩之氏 (国土交通省 北海道運輸局 観光部 国際観光課長)
「北海道におけるインバウンド観光の現状と課題」

渡辺 敏哉氏 (まるぜん観光(株) 代表取締役、ネイチャーガイド)

佐々木 大輔氏 (山岳ガイド、プロスキーヤー)

司会・進行

かとう けいこ氏 ((株)まちづくり観光デザインセンターCEO、地域プロデューサー)



後援 稚内しんきん